

## 研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	機械工学科
研修期間	2021年2月8日～2021年2月19日

研修先情報	
大学・機関名	グリフィス大学
国名	オーストラリア

研修に参加したきっかけ
以前から長期休暇を利用した海外研修に興味があり、過去の研修内容を読むなどしていたが、新型コロナウイルス感染症の流行により現地で研修を受けることが出来なくなってしまった。そこでオンラインで開催され、かつ費用の負担もなかった本研修に参加することにした。

研修参加の目的
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で話すことへの抵抗感をなくすこと。</li> <li>・自分の英語スキル、その中でも特にスピーキングの技能を向上させること。</li> <li>・オーストラリアのみならず複数の国や地域から参加する学生の英語を聞き、各々の英語の訛りを知ることで、今後世界の人々との意思疎通をスムーズに行う足掛かりにすること。</li> </ul>

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>研修開始前に受けたクラス分けテストにより個々人のレベルに合ったクラスに割り振られた。平日5日間、1日当たり4、5時間の授業があり、その授業は Blackboard Collaborate Ultra を、オリエンテーションなど多くの学生が参加する場合は Teams を使用していた。授業資料は One note 上で共有されており、基本的にこの授業資料に沿う形で授業は進行した。資料の内容としては文法に重きを置いており、どのような場合にどれを使うのかというネイティブ的ニュアンスが理解しやすいように章立てされていたように感じた。また、ブレイクアウトルームを使用したペアまたはグループワークも多用され、学生同士で会話をする機会が多くあった。私のクラスは日本人が過半数だったが、香港やモンゴル、ベトナムといった国からの学生もいたため、海外の授業を受けているという実感が湧いた。毎日宿題が One note にて提示され、それを One note 上でこなす必要があった。One note 上でこなした宿題を講師は確認することができ、One note 上で添削を受けた。また毎週金曜日には文法とパラグラフライティングのテストがあり、その週に学習した文法事項に則って文章を記述することが出来るかを問われた。授業以外では自主学習用に外部の英語学習用サイト（BBC や VOA など）のリンクが張られており、その内容は毎週入れ替わっていた。学生はノルマとして週5時間以上、自主学習としてこれ</p>

らのリンク先の内容をこなす必要があった。

#### 研修を通して得たもの

- ・ 英語で会話することでの恐怖心を払拭出来たこと
- ・ 文法事項に対するより深い知識
- ・ 英語の訛り（特にアジア圏）に対してのリスニング力の向上

#### 今後の学習計画

今回の研修で普段よりも多くの英語に触れたことでリスニングやスピーキングといった技能を向上させることが出来たと感じている。ただ、向上したといっても英語を用いて仕事をするというようなレベルにまでは達していないとも感じているため、今後も英語の学習は続けていく必要があると考えている。具体的には、グリフィス大から自主学習用に提示されていた BBC や VOA などの学習用サイトを用いていこうと考えている。また、これまで英語の試験は学内の TOEIC しか受験してこなかったが、TOEFL などの他の試験にも挑戦していこうと考えている。

#### プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

文法事項が授業で出てきた際に文法用語の英単語（noun, infinitive など）が分からず、何に対しての解説かすぐにわからないということが多々あった。従って、研修前に文法用語の英単語に対する補助講義などが欲しいと感じた。

以上

## 研修参加報告書

記入日：2021年2月21日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	情報システム工学科
研修期間	2021年2月8日 ～ 2021年2月19日

研修先情報	
大学・機関名	グリフィス大学
国名	オーストラリア

研修に参加したきっかけ
UNIPA にオンライン英語研修の知らせがあり、長期期間休みであったことから時間が設定されている授業を受けることで生活習慣が崩れることなく勉強することが出来ることに惹かれた。また、留学している友人から留学先での話を聞いていたために、外国の授業を通して英語を学ぶことに対して興味を持っていたため。

研修参加の目的
スピーキング能力がどの位あるかは相手と会話してみなくてはわからないが、英語の授業ではあまり発言する機会がないために、今回の研修に参加することによって英語で発言する機会を設けることで、自分のスピーキング能力を知り向上させること。また、英語を話さなくては意思疎通することが出来ない環境にすることで、自然と英語を話せるようになること。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>リーディング、リスニングのテストを事前に受けることによってクラス分けがされていた。授業ではスピーキング、リーディング、ライティング、リスニングを鍛えることが出来るように構成されていた教科書があり、これに沿って先生が説明を行い、授業内課題、グループワーク、宿題を行った。宿題はあまり多くなく、短時間でやる事が出来るものが多かった。グループワークはブレイクアウトルームを作り、生徒同士で話し合う形式で行われた。金曜日には一週間のまとめとしてライティングテストを行い、自分の足りない技術を調べた。そして、最終日には研修を通してどの位英語の能力が伸びたか調べるために、リーディング、リスニングのテストがあった。</p> <p>授業以外のサポートも充実していて、授業が始まる前の段階から授業内で使用するアプリの説明動画が送られてきたり、授業が始まってからも4日間程授業前に30分程のオリエンテーションがあり、授業で使用するアプリの使い方や授業の概要について説明があった。また、個人で英語を学ぶことが出来るように independent learning というコースがあり、授業以外の時間も学ぶことが出来たために英語に触れる時間が長い2週間であった。</p>

**研修を通して得たもの**

英語の基本的な知識や、週に1回行われるライティングのテストは辞書等を使用せずに行うことで自分の苦手な分野を知ることが出来た。今回はオンライン上での授業であったために、グループワークは自発的に参加することが求められた。そのため、グループ内で活発に活動することが出来るように進行の仕方等、臨機応変に対応することが出来るようになったと思う。

**今後の学習計画**

リスニングはニュースの動画が YouTube にあることがわかったために、一つの動画を何回も聞くことで現地の人の話す速さに慣れたい。また、会話している時に文法があやふやであったように思うために、正しい文法ですぐに話し始めることが出来るようになりたい。

**プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）**

グリフィス大学の研修内容についてはクラスによって内容は異なるとはいえ、申し込む前の期間の時点でもう少し情報があつた方が申し込みやすいのではないかと思った。そのために、グリフィス大学で同じような研修が行われる場合に申し込みたいと考えている人がいるのであればメールでの質問対応を行い、力になればと思う。オンライン英語プログラムの数はとても多かったために、自分に合った研修を選ぶことが出来たことはとても良かった。

以上

## 研修参加報告書

記入日： 2021年 3月 15日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学部工学研究科
学科・学系／専攻	電気電子工学専攻
研修期間	2021年 2月 8日 ～ 2021年 2月 19日

研修先情報	
大学・機関名	グリフィス大学
国名	オーストラリア

研修に参加したきっかけ	
就活を行うと同時に英語のスキル、特にスピーキング力を伸ばしたいと思っていた。ちょうど UNIPA 掲示で募集があったので迷わずすぐに応募した。	

研修参加の目的	
スピーキング力の向上が目的で今回のプログラムに参加した。英語は言語なので他の科目と違って、実際に声に出して発するという実践的なアウトプットが必要と考える。今回のプログラムは約 2 週間という短い期間ではあったが、少人数であるため、有意義な時間を経験できると考え参加した。実際、参加して良かったと感じている。	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
期間としては2週間だったが、実働時間は4時間×10回（月～金）だった。受講前に、リーディングのテストがあり、その結果によってクラス分けが行われる。授業は Collaborate Ultra というシステムを用いており、Web 上で受けられる。つまり、Zoom のように新たにインストールする必要がないので、パソコンを開いてグリフィス大学の HP にログインするだけで簡単に授業に参加することができる。先生は2人おり、曜日毎に担当が決まっていた。授業内容は先生によって変わらず、グループに分かれワークを行う。ワーク内容はディスカッションからリーディングまで幅広く取り組んだ。グループは毎回変わるので、様々な国の人と会話ができ、考えをシェアできる。また、マイクロソフト社のアカウントを与えられ、OneNote を中心にテキストの書き込みや宿題の提出等を行っていた。	

研修を通して得たもの	
オンラインで他大学での英語のワークに参加することに少し不安はあったが、スタッフ含め、サポートのおかげで無事に取り組むことができた。実際に生の英語に触れ、ネイティブが使う英語を知れたのは大きな経験になったと思う。また、英語を英語で教えてもら	

えたことで日本語を挟まずに英語を理解することができたと感じている。

#### 今後の学習計画

毎日1時間は英語学習の時間を確保する。最低でも寝る前に30分。

#### プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

少人数のプログラムだったが、何度か先生側の通信環境が悪くなり音声途切れたりした。通信環境の改善以外はとても最高のプログラムでした。

ご協力ありがとうございました。